

ぱるつうしん

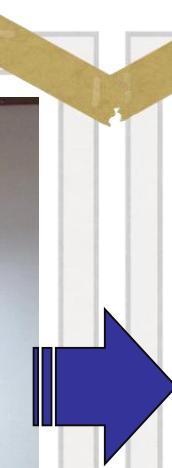
発行元：社福)藤沢育成会 サービスセンターぱる
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592
電話：0466-28-0909 FAX:0466-28-0959
法人ホームページ：<http://www.f-ikusei.or.jp>

平成28年2月号



子ども支援部署のカラフル・星の村では、節分に鬼退治ゲームをしました♪

最初は、鬼を怖がっている子が多くたのですが…



一人ずつボールを投げて、鬼退治をしました。この後、鬼に付いたボールを取ってあげて、鬼と仲直りをしました♪

もくじ

P2.3 特集

- ①「強度行動障害支援者 養成研修について」
- ②「放課後等デイサービス ガイドラインについて」

P4 グループホーム部署

P5 ヘルパー部署

P6 子ども支援部署

P7 職員投稿 & 入職・退職

P8 所長がシャベッター



利用者の方から、チャイルドシートを頂きました。
子ども支援部署で大切に使わせて頂きます☆

特集 「強度行動障害支援者養成研修」について

ばるでは、平成17年に制度化された行動援護の従事者を養成するため、神奈川県の委託を受けて、行動援護従業者養成研修（以下、行動援護研修）を毎年1回、開催してきました。

27年度からは、神奈川県が「強度行動障害支援者養成研修（以下、强行研修）」を実施する」となり、「ばるは」「の研修の後半2日間（実践研修12時間）を委託事業所として、受け持つことになりました。

これら二つの研修は、実は同じ内容なのです。が、行動援護研修はガイドヘルパー向け、强行研修は施設職員向けにプログラム構成されています。

26年度までの行動援護研修は20時間の力リキュラムでしたが、27年度からは、强行研修に合わせて、24時間に増えました。

これまでヘルパーしか学ぶ機会のなかになつたことは、我々が長年望んでいたことで、うれしく思います。施設系サービスと居宅系サービスのスタッフが、支援の共通言語を持つことが出来るようになること、資格要件の面で、互いの人事交流がしやすくなること、そして何より、自閉スペクトラム障害のために生きにくさを感じている人の支援が充実することが期待できるからです。

28年2月15日～16日に根岸の総合薬事保健センターで実践研修が行われ、約1

30名がカリキュラムを修了しました。

藤沢育成会からは、湘南だいちの佐藤課長、湘南セシリ亞の儀保課長がファシリテーター、みらい社の林、よし介工芸館の宇野、湘南ゆうき村の渡辺、湘南セシリ亞の五十嵐、ばるの糀山・妹尾が事務局で参加しました。また、受講生として、ばるの大澤主任、湘南セシリ亞の高橋主任・宗像主任が参加しました。

基礎研修（12時間）

障害特性を理解した支援が大切であること、個人プレイに走らずチームで取り決めた支援方法を丁寧に実施する大切さを学ぶ

実践研修（12時間）

障害特性に配慮した具体的な支援計画を立案し、チームで協力して支援を続けるために努力することの大切さを学ぶ

【講義】

- 強度行動障害とは（地域で強度行動障害者に支援する体制を構築する重要性）
- 様々な強度行動障害者支援の取り組み（実践報告・家族の提言・医療との連携）
- P D C Aサイクルの重要性（構造化、記録と再計画）

【演習】

- 気付き：障害特性の理解の重要性（コミュニケーション理解と様々な手がかり）
- 探索：行動の背景を考える（氷山モデル）

【講義】

- チーム支援の基本（チームで同じ方向に向かって支援することの重要性）
- 様々な強度行動障害者支援の取り組み（実践報告・家族の提言・医療との連携）

【演習】

- プラン①：障害特性に配慮した支援計画の立案（4つのプロセス）
- プラン②：障害特性に配慮した支援計画の立案（4つのプロセス）
- 記録：効果的な情報収集の方法・チームで支援するための報告



放課後等デイサービス ガイドラインについて

特集



ぱるの放課後等デイサービスでは年明けより利用児童の保護者向けに、『保護者向け評価表』を配布して記入のご協力お願いしております。今回初めてこのようなことを行った背景をご紹介いたします。

放課後等デイサービス事業は、平成24年(2012年)より児童福祉法に位置付けられたまだまだ新しい支援の仕組みです。この数年の間で、子どもや保護者の様々なニーズにこたえるように、多種多様の形態の事業所が開所しています。そのようななかで支援の一定の質が保たれるための枠組みが必要ではないかという声がでてきました。

平成26年(2014年)に“障害児支援のあり方に関する検討会報告書”の中で、ガイドラインの策定が必要との見解が示され、翌年の平成27年(2015年)にガイドラインが策定されました。(厚生労働省のホームページ「障害児通所支援に関するガイドライン作成検討会」参照)また、同年12月に社会保障審議会の中で、ガイドラインの活用の徹底が示されました。

ガイドラインでは「保護者向け」「事業所向け」の2本立てで評価表を作り、それぞれの評価結果を踏まえ、今後の事業運営の改善を図ることとし、また結果を公表するよう求められております。

このガイドラインに沿う形で、今回、『保護者向け評価表』を実施しました。内容は大きく5領域(①環境・体制整備②適切な支援の提供③保護者への説明等④非常時の対応⑤満足度)があり、全18項目からなっています。

現在(寄稿時1月下旬)、保護者の方々からの『保護者向け評価表』のご提出を受けているところです。まだ途中経過ではありますが「取り組んでいないこと」「取り組んでいたが広報をしていなかったこと」「求められるぱるの放課後等デイサービスへの想い」など、たくさんのご意見をいただいております。

何らかの形で利用児童の保護者のみなさんには結果をお伝えしたいと考えております。

(小野田)

☆グループホーム部署☆

○グループホーム部署の大澤です。今回、『藤沢市住まいと暮らし連絡会』についてご紹介します。この連絡会は、藤沢市内のグループホームと入所施設で構成する任意団体です。登録事業者は藤沢市内の法人（県央福祉会、ひばり、創、藤沢育成会、光友会、藤沢ひまわり、ふれあいの郷、ぐるーぷ藤、清心会）で、事業所は35（ホーム、入所施設）となっています。

○主な活動、役割として、**総合支援協議会との連携、毎月の連絡会開催、研修の企画、グループホーム見学希望者への対応、相談支援事業所や藤沢市障がい福祉課への協力**となります。また、**総合支援協議会との連携**では、連絡会で挙がる地域課題や将来想定される利用者のニーズについて、二か月に一度開催する『**障がい福祉サービス事業所代表者会議**』を通じ運営会（総合支援協議会の運営会）へ報告できるようにしています。

○相談支援事業所、藤沢市障がい福祉課への協力では、昨年度は**リーフレットの作成**や特例子会社で行った**グループホーム説明会実施協力**を行っています。今年度は※**居住サービス事業所ガイドブック（仮）**の作成を行い、藤沢市内の相談支援事業所へ配布し、障がい福祉サービス受給者証をお持ちの方からの、居住サービスについてのご相談に対応できるよう取り組んでいます。是非、ご活用下さい。

※居住サービス事業所ガイドブック（仮）は2016年4月から相談支援事業所へ配布予定



メイン：にんにくチャーハン (かわせみハイム 工藤世話人：10年目)

コメント

あつ、と気が付いたら10年…なんの経験もなく、まして手作りの料理とは縁遠く(免許はもっていても自営業で忙しく余りつくらなかった)無我夢中でした。しかし、今の時代あえてシンプルに作る、にんにくチャーハン…。

利用者さん、仲間の皆さんに助けられてここまでやつてこれた事に感謝しています。(工藤)

にんにくチャーハン

材料（6人分）

たまご 4個

にんにく 4つぶ

塩コショウ 目分量で3ふり

しょうゆ 大さじ3杯

だしの素和風(顆粒 大さじ

2/3)



夕食メニュー

- にんにくチャーハン
- 野菜スープ
- 餃子・ブロッコリーとザーサイ

ポイント

かわせみハイムの利用者さんは、6名全員が50代以上なので、味付けや食事内容は、あつさりしたものをお供しています。

グループホームの
愛情クッキング♪

○作り方

- 1.フライパンを弱火で温め、にんにくを入れます。
- 2.にんにくに焦げ目がついたら、ときたたまごを流し込みます。
- 3.かき混ぜながら、たまごが固くならないところで火をとめます。
- 4.ご飯を入れ、たまごと絡めながら味付けをしてできあがり。

♥ヘルパー部署♥

2015年度に実施した研修を紹介します♪

一般の方を対象とした研修（一部登録ヘルパーも参加）

★強度行動障害支援者養成研修

NEW

基礎研修・実践研修（うち、実践研修を担当）

○実施日：2016年2月15, 16日

○目的：強度行動障害を有する者に対し、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成
○対象者：基礎研修を修了した方のうち、障害福祉サービス事業所等において、知的障害、精神障害のある児者を支援対象にした業務に従事している（従事する予定のある）方



○講義時間数：12時間

○修了者数：127名

○実施会場：神奈川県総合薬事保健センター（根岸）

※入所施設・GH・短期入所施設職員の養成研修として、今年度から始まった神奈川県委託事業です。基礎研修では特性とアセスメントについて学び、実践研修で、適切な支援を実施するための計画作成に必要な知識・技術を学びます。※詳しくは、本通信・特集②をご覧ください。



サービスセンターぱる、ヘルパー部署では様々な研修を実施しています。

今年度登録ヘルパーとして活動している地域の方、これから活動しようと思っている方、ぱるスタッフ・ヘルパー向けに実施した研修を紹介します。

★行動援助従業者養成研修

○実施日：2016年1月12~14日

○目的：知的障害または精神障害により行動に著しい困難を有し、常に介護を必要とする障害者等に対し、行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な支援、外出時における移動中の支援の知識・技術の習得

○対象者：行動障害を持つ利用者の支援を行う方

○講義時間数：24時間

○修了者数：57名

※この研修では、講義の後、「障害特性シート」というアイテムを活用しながら、“特性”（例：言葉の理解の難しさ、感覚の特異性、時間・環境の整理の困難さ等）に合わせた支援を組み立てる演習を行います。

『経験で行う支援』から『根拠に基づいた計画的な支援』へ。チームで取り組むことの大切さ、難しさも学ぶことが出来ます。



★ガイドヘルパー養成研修

○実施日：①2015年9月10,11,24日（及び実習1日）

②2015年11月14,15,29日（及び実習1日）

○目的：障害児・者の社会参加を支援する担い手の確保および全ての人にとって住みよい地域社会の形成が大切であると広める事

○対象者：障害者福祉に興味のある全ての方

○受講時間数：20時間（実習含む）

○受講者数：26名（①12名、②14名）

○サービスセンターぱる/湘南ゆうき村（実習のみ）

※移動支援を行うための資格取得研修です。制度の説明や支援の方法を、今まで障害のある方と関わった経験のない方にもわかるよう、事例や映像を混ぜながら、伝えます。実習も行いました。

★ヘルパー会議

○実施日および内容：

2015年4月16日「車いすを押してみよう」

8月20日「チームビルディングを学ぶ」

12月17日「交通安全について」

2016年1月28日「行動の理由を考える」

○目的：支援スキルの向上、情報共有

○対象者：サービスセンターぱる登録ヘルパー

※登録ヘルパーさんを対象に行う「会議」と名のついた研修です。日々の支援はマンツーマンで行いますが、継続的な支援を行うためにチームワークは必要不可欠。みんなで様々な取り組みをすることで、知識・技術を得ながら、チームワークの向上を目指しています。

★スタッフ＆ヘルパー研修

○実施日および内容：

2015年5月27日「意思決定支援」

7月15日「チームワーク（報連相）」

9月30日「介護・介助技術」

10月28日「発達障害とは？」

11月25日「ストレスマネジメント」

2016年2月24日「記録について」（予定）

○目的：支援スキル、知識の習得

○対象者：サービスセンターぱるに従事するスタッフ、ヘルパー全員

※障害者支援に関わるテーマについて、常勤職員が企画運営を担当し、講義・演習を行います。時には、外部から講師を招くこともある、学びの多い研修です。

ヘルパー部署（ぱる、法人として実施するもの含む）が実施に携わる研修以外にも、地域で実施している研修に参加するなど、支援がさらにより良い物になっていくための取り組みを行っています。

来年度も積極的に実施・参加していきたいと思います。

「ども支援部署

みなさんこんにちは
子ども支援部署の小野田です。

特集にてご紹介したとおり、先日、厚生労働省より、放課後等ディサービス事業について、利用児童の保護者に対しアンケートをとることを促す文書が発表されました。

そこで、星の村・カラフル・プリズム・はぐの放課後等ディサービスをご利用している保護者を対象に現在アンケートをとり集計をしているところです。

アンケートを通じて、きちんとお伝えで見えてきました。今号では、ぱるの放課後等ディサービス事業で取り組んでいる防災訓練についてご紹介いたします。

ぱるでは、年2回防災訓練を実施しております。(9月:地震を想定 2月:火災を想定)。子どもたちを交えて訓練を実施することもありますが、近年では職員のみいろいろな想定をして実施することが多いです。

全事業所通用口も含め2か所以上の出入

り口があるので、地震の規模や火災の位置など想定する状況に応じて、どの職員がどのように動き、安全確認をして、119番・ぱる本体・ご家族への連絡をいつするのかなどを実施しております。実際に子どもたちがいることを想定して、広域避難場所等へ移動することも行います。

毎回、振り返りのなかで課題を確認し、

次回の訓練にその視点をいれて取り組みを行っております。また実際に移動をすることで、車いすを使用している児童がいる場合のルートの想定をしたり、倒壊のおそれのある建物を確認したり、色々なことに気づき、これまで改善をしてきました。



今年度はその新しい視点の防災訓練として、九月に非常食をおやつの時間に食すことを星の村・カラフルでは実施をしました。災害時に、保護者への引き継ぎが困難の場合、支援物資が届くまでは、その非常食を食す可能性があるためです。

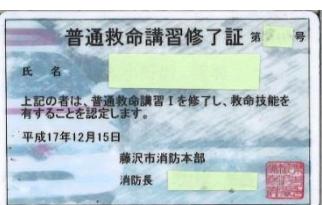
このように、毎回一つ一つですが、色々な想定をしながら防災訓練を実施しております。

数年に一度の割合で、藤沢市消防局村岡出張所の方々等のご協力のもと、心肺蘇生法の講習会を実施しております。消防局の助言により、消防より距離がある星の村ではAEDを設置しております。

☆わたくし小野田は、平成一七年より、複数回受講しております！



AED



職員投稿

今回は、グループホーム世話人
「樋下田さん」からの投稿です。

「今日はどこに行く？」

予定もない晴れた休日。散歩日和だ。「よしー裏山へお散歩に行こう！」娘の凜（12才）を誘って出発だ。

裏山の入口に着くと、さてさて、「どこから登る？ 右は少し崩れそうな山道。左は高さのある長い階段。真ん中は…獸道。2人でニヤリと

笑い「もちろん真ん中だね！」

見上げると急な斜面。フカフカの枯れ葉の上を歩き、木のツルを掴みながらドンドン登っていく。斜面の途中に自然に出来たブランコで遊び。手をついた地面に小さなどんぐりから新芽が出てくるのを発見し喜び、息を切らしながら頂上まで！

ひと休みして少し崩れそうな山道を下りながら日々の悩み相談（笑）すると…木登りしやすそうな木を発見。「落ちたら大ケガだね。」と言しながら凜に勧める。もちろん断りません！ 必死になつて登ります。高い所まで登つたらバンザイ！ ひょいと飛び降りて満面の笑顔。「ジギットコースターより楽しいね！」

次の散歩は雑木林だ。その先には池がある…と知らないおじいちゃんが言っていた。次の晴れた休日が楽しみだな。（私はとても愛情表現が苦手なので体を動かして親子関係深めています！…）



新スタッフを紹介します♪

12月21日付でヘルパー部署に配属となりました、コーディネーターの起橋 彩香（おきはしゃあやか）です。

藤沢市に越してきたばかりで、街の散策を楽しんでいます。

既に、サービスでお会いした方もいるかもしれません、たくさんの方とお会いしていくと思います。

どうぞよろしくお願い致します。



初めまして。11月から勤務させて頂いている宮澤 直子（みやざわ なおこ）です。

今まで、入所施設での勤務をしていたので、児童支援は初めてなのですが、元気いっぱいの子どもたちにパワーをもらいながら、楽しく過ごしてもらえるように頑張ります。

どうぞ宜しく願い致します。



お疲れ様でした★

黒崎ホームで支援員をしていました、大学4年生の森 利彦（もり としひこ）さんが、1月いっぱいまで、ぱるを卒業しました。4月からは社会人です。お疲れ様でした！



新しく加わったスタッフに会いましたら、ぜひお声掛け下さい♪

どうぞよろしくお願ひ致します。



はるの太郎園・小部屋



「トボトボ歩いて」一語を拾つ

朝日新聞の朝刊に鷺田清一が『折々のことば』というコラムを連載している。本からの引用が多いのが、インターネットの記事やテレビ番組で誰かが話していた内容などから引かれることもあり、言葉というものの面白さと奥深さを味わい深く紹介していて、毎朝楽しみに読んでいる。

先日、私が歌姫と仰ぐ中島みゆき様（歌姫だから様をつけないといけないのである、が以下は敬称略）の言葉が紹介されていた。NHKの歌番組『SONGS』の中で語った言葉である。

時の流れがね、落つことして

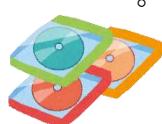
いつたものを一番後ろから拾い

ながらトボトボ歩いていくって
いうのが、私には合っているかなって思うんです。中島みゆき

さすが、中島みゆきである。「時代の半歩先を行きます」なんて月並みなことは言わない。中島みゆきの歌

は、決して「前向き」ではない。『時代』が典型的にそうであるように、基本的に追想の歌である。物事を丁寧に思い起し、そこととても深い意味を見いだしていくのが、その歌の作法であり、魅力である。

現代人は誰もが異様に忙しく立ち働き、時代の流れは人々を軽々と追い越していく。そうした時の流れの中で、誰もが何か落とし物をしてしまう。それを丁寧に丁寧に拾い集め、言葉と音楽で見事に再構成しているのが中島みゆきいう稀代の歌姫なのである。しかもそのことを中島みゆきは、一番後ろからトボトボ歩いて拾っている、と謙虚に頼りなさげに言う。でも、「」の決して前に出張らない姿勢にこそ、中島みゆきの創造性の秘密があるのである。



私たちの支援の仕事も、中島みゆきの歌作りと同じだと思う。支援者は、利用者の後ろをトボトボ歩いて、

二語という大事な大事な落とし物をさりげなく、でも丁寧に拾っていく。それでいい。それだけでいいのだ。

DVDがVHS（ビデオ）よりも主流になったのが2004年だそうですが、それから早十年。世間ではビデオテープを見る機会が激減する中、ヘルパー部署では今日も、VHSが活躍中です。
ビデオテープの在庫もだんだん減ってきていますが、ビデオテックはリサイクルショップでも品薄で、中々手に入らない状態です。
もし、「」家庭に使わなくなつたビデオテックがありましたら、ぜひお譲り下さい。

「連絡お待ちしております。（ヘルパー部署）
※ブラウン管テレビも、絶賛募集中です。



よし介工芸館・響き展

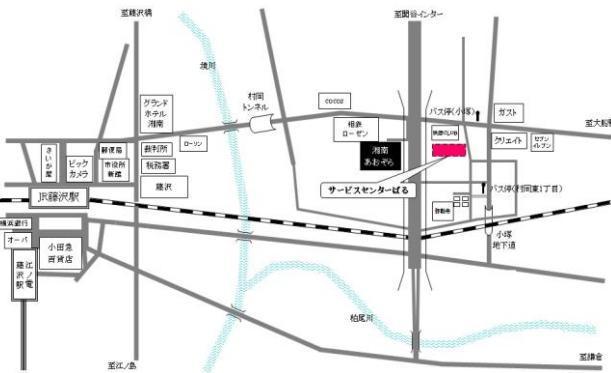


『よし介工芸館・響き展』で機織り体験をしてきました

《サービスセンターぱる》

〒251-0013 TEL:0466-28-0909

藤沢市小塚592 FAX:0466-28-0959



【バスをご利用の場合】

<行きかた1>

藤沢駅北口より11番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』

『小塚』停留所から徒歩2分になります。

<行きかた2>

藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』(教養センター行きは×)に乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】

藤沢駅北口より徒歩18分